

受け継がれる信仰と郷土愛

平成30年7月に世界文化遺産に登録され、5周年を迎える「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「平戸の聖地と集落」について紹介します。

文化交際課文化遺産班 ☎22-9143



1 安満岳山頂の石造物

安満岳の山頂にある白山比賣神社裏の「奥の院」と呼ばれる場所にある石祠。

かくれキリシタンが代々、口伝えに伝承してきたキリシタン信仰の祈り「オラシヨ」のなかにも「安満岳の奥の院様」という言葉が出てきます。

2 安満岳山頂付近の石積参道

安満岳の山頂にある白山比賣神社へつながる、古くから大切にされてきた自然石を積んだ参道。履き物を脱ぎ、裸足で参拝していたことから「裸足参り」と呼ばれている。

3 丸尾山から見た春日の棚田

春日集落のほぼ中央に位置する「丸尾山」では、発掘調査でキリシタンの墓地が見つかったことから、十字架があったと考えられています。

4、5 中江ノ島

岩からしみ出す水を採取し、聖水とする「お水取り」を行う大切な場所。中江ノ島で聖水を取ることは、主に生月の信者によって行われましたが、春日集落からも中江ノ島に対する信仰がありました。

平成30年7月に世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、キリスト教禁教の中で、神道や仏教などの伝統的宗教や一般社会と関わりながら、密かに信仰を続けた潜伏キリシタンの伝統の証となる遺産群で、7月で登録5周年を迎えます。

この遺産群は、国内に宣教師が不在となりキリシタンが「潜伏」したきっかけや、信仰の実践と共同体の維持のために密かに行ったさまざまな試み、そして宣教師との接触により転機を迎え、「潜伏」が終わるまでの歴史を物語る12の資産から構成されています。本市では、「平戸の聖地と集落」として、「春日集落と安満岳」と「中江ノ島」の2つが構成資産となっています。

「平戸の聖地と集落」は、潜伏キリシタンが何を拝みながら信仰を实践したのかを示す集落の1つです。

禁教期、春日集落の潜伏キリシタンは、禁教初期にキリシタンの処刑が行われた中江ノ島を殉教地として拝み、聖水を汲む場としました。また、キリスト教が伝わる以前から山岳仏教信仰の対象であった安満岳や神社、仏像などを併行してまつりつつ、家屋内にまつられた納戸神や、

キリシタン時代に墓地や十字架が存在した山を聖地として守り、密かに信仰をつないできました。

禁教が解かれてからも、カトリックに復帰せず「かくれキリシタン」として信仰を実践し続けましたが、現在では、「かくれキリシタン」としての行事は行われておらず、個人的に信仰具をまつる程度となっています。見た目には分かりづらいのですが、春日集落には、平戸と海外との長い交流の歴史がもたらした、さまざまな宗教の痕跡、歴史的な価値が刻まれています。



▲納戸神展示コーナー



▲かくれキリシタン展示コーナー



▲第1回世界遺産学習会の様子



▲パネルで説明する寺田さん、売店では棚田米や加工品も販売中



▲かたりなのスタッフと語り部の皆さん、左から寺田厚子さん、寺田重也さん、増田貞子さん、寺田賢一郎さん、山口みつ子さん、山口善作さん

生月町博物館「島の館」

平戸市世界遺産サテライトセンターに指定されている平戸市生月町博物館「島の館」では、長い迫害に耐えて受け継がれた「かくれキリシタンの信仰」に関する資料をはじめ、生月島で江戸時代に日本最大規模を誇った益富捕鯨に関する資料も展示されています。



また登録後は、さまざまな関連イベントを開催しています。生月町の子どもたちを対象とした世界遺産学習会では、世界遺産を身近に感じ、地元を好きになってほしいと「春日地区での絵画」や「グループワークでの宝さ

「次世代に繋ぐ、信仰の歴史」

Interview



生月町博物館「島の館」

施設長 松本 貴浩 さん

施設長として博物館の運営・管理を担当しながら、解説指導員としても来館者を案内している。

世界文化遺産登録以前の来館者には「捕鯨の歴史」をメインに解説していましたが、登録後は「かくれキリシタンの信仰」の解説を増やしました。年代も60代以上の人が多く来場していましたが、20代の学生をはじめ、幅広く来館するようになりました。来館者数も登録前より増え、世界文化遺産登録の効果を実感しています。

また登録後は、さまざまな関連イベントを開催しています。生月町の子どもたちを対象とした世界遺産学習会では、世界遺産を身近に感じ、地元を好きになってほしいと「春日地区での絵画」や「グループワークでの宝さがし」などを行っています。参加者の中には、小学1年生の時から5年間、毎年参加してくれる子どももいて、回を重ねるごとに成長を感じ嬉しく思います。

生月町博物館「島の館」(生月町南免4289-1)

- 営業時間 午前9時～午後5時(休館日:1月1日、2日)
- 利用料金 ▶一般 520円 ▶高校生 310円
▶小・中学生 210円

※団体割引あり(15人以上)、障がい者割引あり

☎0950-53-3000



春日集落案内所「かたりな」

空き家を改修した、春日集落案内所「かたりな」は、母屋と隠居屋に分かれています。

母屋は案内所、売店、資料コーナーがあり、オテンペンシャヤ、お札など信仰具のレプリカを展示しています。

隠居屋では、語り部の人がお茶や手作りの漬物を用意して訪れた人へおもてなしをしています。

「究極のおもてなしを、これからも」

Interview



春日集落案内所「かたりな」

寺田 賢一郎 さん

かたりなの運営に協力している春日町まちづくり協議会「安満の里春日講」で会長を務めている。

初めは、訪れる人が増えることに不安がありました。世界文化遺産登録前、観光客は少なかった春日地区ですが、登録後、年間1万6千人が「かたりな」を訪れるようになりました。テレビなどに取り上げられる機会も増え、地元を離れた家族や知人から「テレビを見た」などの連絡があり、地元に住む人もみんな嬉しく思っています。

来訪者へ、案内する時はじっくり説明すべきか、簡単に説明すべきか、できるだけ相手に合わせて、対応する様に心がけています。また、海外からの観光客も増え、日本語の通じない人も訪れます。ドイツから訪れた日本語をまったく話せない観光客2人に、身振り手振りで説明したことは今でも覚えています。春日の棚田米、かんころもち、ハンカチなど安満の里春日講で販売している商品も想像以上に大反響です。隠居屋でのおもてなしも人氣があり、漬物名人の作る漬物と、語り部の話を目当てに来るリピーターも多く、うれしく思います。春日集落の景観を維持することは、とても大変ですが、地域で協力し守っています。これからも真心こめた対応で、かくれキリシタンの歴史を語り継いでいきます。

春日集落案内所「かたりな」(春日町166-1)

- 営業時間 午前8時30分～午後5時30分(休館日:12月31日～1月3日)
- 入場料 無料

※電動アシスト自転車の貸出を2時間500円で行っています。

☎0950-22-7020



長崎県世界遺産登録5周年記念事業

県内でもさまざまな記念事業が予定されています。

スポーツイベントとのタイアップ

県内のプロスポーツクラブのホームゲームで世界遺産や構成資産地域の魅力をPR

路線バスラッピング

県内各地を走る路線バスに、世界遺産絵画コンテスト入賞作品をラッピング



構成資産周遊デジタルスタンプラリー

構成資産地域にチェックポイントを設置。ポイントに応じて抽選で、景品プレゼント

○期間 8月～令和6年1月

「世界遺産巡礼の道」クリーンウォーク

「世界遺産巡礼の道」を歩きながらゴミ拾い、SNSに投稿し、抽選で県産品プレゼント

○期間 9月～11月(土曜・日曜・祝日のみ)

○場所 長崎市、平戸市、南島原市、佐世保市(黒島)、五島市(久賀島)、新上五島町



世界文化遺産トークショー

世界遺産や長崎・天草にゆかりのある著名人を招き「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のトークショーを実施し、魅力を発信します。

○とき 11月中旬 ○ところ 長崎市内

世界文化遺産への登山をより気軽に

安満岳には、年間2～3千人が訪れています。来訪者への魅力発信と登山をより気軽に楽しめるよう、山頂付近に休憩所と歩道を新たに整備しました。

山頂付近には、白山比賣神社があり、近くには古くから人々に大切にされてきた自然石を積んだ参道があります。

新設歩道は、雨の日などに滑りやすい石積参道を迂回するルートに整備したため、山頂へのアクセスの選択肢が増え、より安全に山頂にアクセスできるようになりました。また、歩道の先に建設された休憩所には、板間と案内板があり、ゆつくりとくつろぎながら安満岳について知ることができそうです。

休憩所では、毎年春と秋に平戸神楽(国指定重要無形民俗文化財)が披露され、伝統芸能の継承にも役立てられます。



▲山頂付近に建てられた休憩所

世界遺産を誇りに

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されて5年目になります。また、「平戸に世界遺産があることを知らない」、「春日集落に行ったことがない」という市民の声や、「世界遺産の看板を見てきた」、「世界遺産があるとは知らなかった」という観光客の声もあります。

平戸市では、より多くの人に平戸の世界遺産を知ってもらうため、また、市民の皆さんに誇りに思ってもらうため、情報発信や普及啓発事業に取り組んでいきます。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録5周年記念イベント

平戸市では毎年開催しているイルミネーションイベントの他にも、世界文化遺産登録5周年を記念して、灯りのイベントや、スタンプラリーなど、さまざまなイベントの開催を予定しています。

また、長崎県でも各構成資産でたくさんのイベントを予定しています。

世界遺産5周年事業① 灯りのイベント

世界遺産のシンボルマークを灯りで描き、スカイランタンを飛ばします。

○とき 7月29日(土)19:30～(雨天の場合、8月5日(土)に延期)

○ところ 平戸文化センター ○スカイランタン参加料 1,000円

※風の影響で、スカイランタンを飛ばせない場合もあります。



世界遺産5周年事業② 重ね押しスタンプラリー

世界遺産の関連施設を周遊して、ポストカードを完成させよう!

どんな絵になるか、完成してからの楽しみ!

○とき 10月～

○ところ 世界遺産関連施設



世界遺産5周年事業③ イルミネーションイベント

15分ごとに色が変わる約7千個のLEDライトが棚田を彩ります。

○とき 11月1日(水)～30日(木)

○ところ かたりな周辺の棚田(平戸市春日町166-1)

○点灯時間 日没を感知して点灯し、約4時間後に自動で消灯



そのほかにも、SNS活用イベント、企画展、世界遺産関連商品の販売など、さまざまなイベントを予定しています。



▲巡礼の道をSNSに投稿



▲企画展は信仰具などを展示



▲世界遺産関連商品